

## [005] 総合文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1955357>

---

出版情報：総合文化学論輯. 5, 2016-11-01. 総合文化学研究所  
バージョン：  
権利関係：

論集「総合文化学論輯」（ISSN 2189-0986）第4号刊行。2016年5月1日。

## 第7回総合文化学会

日時：2016年5月5日（祝） 午後1時30分～午後4時

場所：福岡市男女共同参画センターアミカス研修室A

1. ご挨拶・ご連絡
2. 口頭発表

### ①

発表者：佐藤慶治（音楽教育学、比較文化学専攻）

現在の研究テーマ：「明治期の唱歌教育における翻訳唱歌と国民形成」

国立音楽大学声楽専修卒業、九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程在学。

花王芸術・科学財団平成28年度研究助成対象者、九州大学大学院博士後期課程奨学生。

アメリカ映画文化学会評議員

バリトン歌手（人吉市犬童球溪賞、九州音楽コンクール審査員特別賞など）

発表タイトル：「明治期の唱歌教育と国民形成 - 唱歌と女性像 - 」

発表要旨：明治期の唱歌教育は、1882～84年の『小学唱歌集』全三巻刊行より花開き、戦前・戦後を通じて日本における音楽教育の原点となっている。当時、音楽は単なる芸術とは見なされておらず、唱歌は学校教育を通じてナショナル・アイデンティティの形成を行う、いわば「装置」であったと言えよう。本研究においては「翻訳唱歌」と原曲歌詞の比較分析を中心におき、明治期の唱歌集における理想的女性像の形成とその発展の過程について論じる。

### ②

発表者：荒本文果（慶應義塾大学美術史専任講師・イタリア・ルネサンス美術史）

現在の研究テーマ：「15世紀ローマの壁画装飾事業における競合意識について。」

（日本学術振興会「若手研究B」平成28年～31年）

鹿島美術財団・財団賞受賞

発表タイトル：「美術史における表象不可能性について」

発表要旨：本発表は、西洋美術史における画像の否定・破壊・不在に関わる事象の思想的な枠組を考察するものである。主に、ビザンティン帝国で8-9世紀に展開された聖像否定運動をはじめとするイコノクラスム・14世紀のトスカーナ美術をめぐるトラウマ・15世紀ローマの礼拝堂壁画制作におけるタブーを取り上げ、各事象の比較を通じて、表象不可能性の実態に迫りたい。

論集「総合文化学論輯」（ISSN 2189-0986）第5号刊行。2016年11月1日。